

2022年 分析機能紹介セミナー

岡山セラミックスセンター機能の充実

重要なお知らせ(2022年6月1日現在)

- ☆ 可能な感染対策を講じて対面式で**開催することで準備**を進めています。
- ☆ 諸般の事情により web での開催を余儀なくされた場合は、参加申込の方には別途ご連絡します。
- ☆ 発熱や体調不良の方は、参加をご遠慮ください。
- ☆ 当日は、**マスク着用、手などの消毒洗浄、都度の検温実施**、換気の徹底など3密防止を図ります。

岡山セラミックスセンターにおける測定分析では、昨年10月から『ICP分析装置』や『原子吸光分析装置』を稼働させることにより、従来分析ができなかった軽元素や微量成分の分析を進めています。また、設立当初から行っている『蛍光 X 線分析装置』による成分分析については、迅速に高精度なデータが提供できるよう測定技術に磨きをかけているところです。

この度、皆様に『ICP分析装置』と『蛍光 X 線分析装置』の装置の特性、どのようなデータが得られているのか事例紹介をさせていただくこととしましたので多数ご参加いただけますようご案内します。

- <主催> : 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団
<共催> : 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

開催日時

2022年10月 6日(木) 13:00~16:30

セミナー 1300-1600 主要装置の見学 1600-1630

※ 開始5分前には、受付を済ませるよう御協力ください。

会場

岡山セラミックスセンター 1F セミナー室

(〒705-0021 備前市西片上 1406-18 TEL: 0869-64-0505 FAX:0869-63-0227)

定員

50名 (定員に達しましたら申込を締め切ります。)

参加費

無料

申込先 連絡先

別紙の申込書に必要事項を記載の上、FAXかメールにて送信ください。
(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当:川端(かわばた)
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Email : erazoku@optic.or.jp

〆 切日

2022年 9月28日(水)

プログラム

時 間	講 義 概 要
13:00-13:02	開会あいさつ(趣旨) (一財)岡山セラミックス技術振興財団 理事長 矢 吹 巧
13:02-13:15	講義1 『OCCにおける分析機能の拡充』 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 副所長 内 田 茂 樹 当財団は、分析センターとして、蛍光X線、カーボン/硫黄分析からICP、原子吸光、酸/窒素分析、紫外可視分光、自動滴定等の各装置及び重量法、滴定法を用いた分析へと範囲を広げ、この1年、経験を積んできました。どのような元素分析が可能になったか、その概要を紹介します。
13:15-13:55	講義2 『蛍光X線分析装置の概要、卓上型蛍光X線分析装置の紹介』 株式会社 リガク X線機器事業部 SBU WDX 大阪分析センター 円 子 友 理 氏 元素分析装置として広く使用されている蛍光X線分析法の原理をご説明した後、卓上型蛍光X線分析装置を測定事例を示しながら装置の特長と機能を紹介いたします。
13:55-14:35	講義3 『蛍光X線分析における定量法と半定量法の比較検討事例』 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 技師 岡 崎 昌 博 最初に、蛍光X線分析依頼試料の受入から結果判明までの一連の流れをビデオで紹介した後、OCCの分析依頼項目である、検量線を用いた定量法とFP法などの半定量法で得られた分析値の違いを比較しながら説明します。 また、材質不明の試料をガラスビード作製した時の失敗事例など参考例を紹介し、今後、分析依頼される際の注意点などを説明します。
14:35-14:40	休憩
14:40-15:20	講義4 『ICP発光分光分析法の概要』 株式会社島津製作所 分析計測営業部 舛 田 哲 也 氏 溶液中の元素分析に広く使用されているICP発光分光分析法の原理と装置の概要について紹介します。
15:20-16:00	講義5 『ICPによるボロン、リチウムの分析事例 他』 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 技師(分析Gリーダー) 竹 内 悟 ICP用溶液試料の作製方法の概要と分析精度に影響することなどを、ビデオを併用して説明します。今回は、ボロンとリチウムです。ボロン分析では、目的とするボロンの状態に応じて溶液化方法が異なる例として紹介します。一方、スポジューメン鉱石(LiAlSi ₂ O ₆)中に含有されるリチウムは溶液化しにくい例です。さらに、有機物でも含有される不純物が無機物ならば、分析対象になることを紹介します。
16:00	閉会
16:00-16:30 希望者のみ	見学会 『装置見学 装置の前で質疑応答』 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 班長 武 内 修 治 本日までご紹介したICP、蛍光X線分析装置の他、超高速加熱装置やガス分析計、合成ガス炉システムなど最新の装置をクローズアップしてご紹介します。

2022年 分析機能紹介セミナー 参加申込書

年 月 日

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 御中

〒
住 所

会社名

申込者氏名

TEL

FAX

E-mail

@

以下のとおり参加申し込みます。

可能な感染対策を講じて対面式で**開催することで準備**を進めていますが、万一の場合 ハイブリッド或いはwebでの開催となる場合があることをお含みください。

参加者氏名

氏 名	所属、役職	備考

講義の中でお聞きになりたいこと、質問事項などを講師へ事前に伝達いたします。

質問事項